

火山活動が作り出した地

つつじヶ原自然探勝路は、非常に活発な活火山である硫黄山（アトサヌプリ）の麓まで 2.3km に渡って続いています。探索路を歩きながら、火山が周囲の植物へ与えた影響の印を探してみてください。

硫黄、火山灰地、強烈な地熱、そして、山腹の裂け目から沸き起こる噴煙による噴気活動といった、厳しい環境を生き抜くため、植物たちは自然に順応・進化してきました。探勝路はそびえるように生えるアカエゾマツの森を抜け、さらにシラカンバとミズナラ林へと続きます。森が途切れたその先の草原にはイソツツジ群、ハイマツ群が続き、剥き出しの大地の勾配、硫黄山（アトサヌプリ）の麓に至ります。

国立公園の保護・保全

つつじヶ原の自然の景観は、何世紀もほぼ変わっていません。硫黄山（アトサヌプリ）は約 150 年前、硫黄を採掘する鉱山として利用されてきましたが、つつじヶ原エリアの森や草原は、人的影響を受けず手付かずの状態で残されていました。従って、ここは保護地区に指定され、自然のエコシステムを保全するため厳格なルールと規制によって守られています。